

研究主題





**豊かに生きる力の育成
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～**

1 単元名 「おすすめの一さつを決めよう」

2 単元の目標

目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選び、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。

3 本小単元の評価基準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

中学年の基礎的汎用的能力(夢4)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と関わる力  【人間関係形成・社会形成能力】	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の気持ちを理解し、協力して取り組もうとする力 ・自分の生活を支えてくれている人がいることに気付く力 	①どんぐりまつりに向けておすすめの本を紹介する手紙の内容を話し合っている。	①粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
自分をみつめる力  【自己理解・自己管理能力】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良いところを見付ける力 ・よいと思うことを考え、すすんで取り組む力 	①「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	
課題をやりぬく力  【課題対応能力】	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもち、計画を立てて実行する力 ・自分の役割に責任をもってやり遂げる力 	②「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	①粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
次につなげる力  【キャリアプランニング能力】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活や学習を通して、働くことの楽しさを発見する力 ・学習と生活が将来の生き方に関係していることに気付く力 		

※キャリア教育と関連が密接なものはゴシック体・太字

4 部会提案

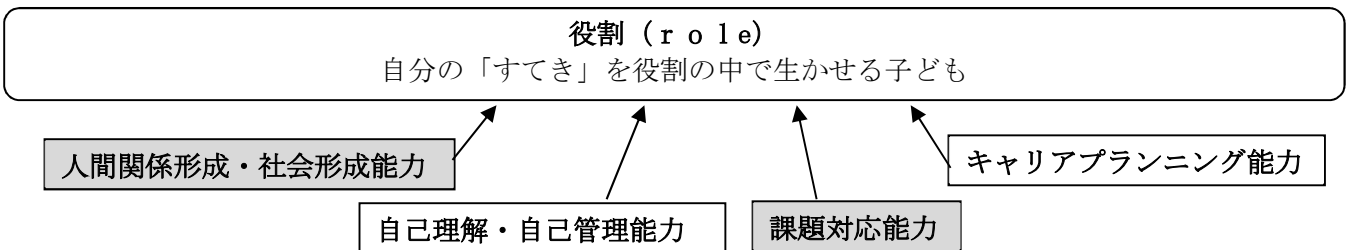
(1) 児童の実態と単元観

本学年の児童は、学習活動を通して「友達と話し合うことが好き」という児童が多く、話し合いに意欲的に参加している様子が見られる。一方で、自分事として捉える力や、聞き手として他者目線に立って考えたり、相手意識をもって自分の考えを伝えたりする力が弱いことに課題がある。このことから、一学期は自己紹介を通して自分のことを伝える学習・友達の発表を聞く学習を行い、話し方や聞き方についての学習をした。




本単元の「おすすめの一さつを決めよう」では、本校の行事であるどんぐりまつりを通して、上学年である4年生に自分のおすすめの本を紹介する手紙を書く。なぜその本を選んだのか、またどのようなところがおすすめなのか伝えることで相手意識や他者目線に立って考える力が付けられると考えた。

キャリア教育の観点では、この小単元を通して「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」を育てていきたい。「つかむ」段階では、どんぐりまつりに向けておすすめの本を決める。「高める」段階では、役割を担いながら分グループで話し合って改善していき、清書を書く活動に向かう。互いに聞き合うことで相手に伝えるためにどうしたらよいか相手意識が高まると考える。話し合いを通して、「人間関係形成・社会形成能力」、話し合った内容をもとに改善してよりよくしていこうとする「課題対応能力」の育成につなげたい。


(2) 中学年の目指す児童像と本単元で重点となる基礎的・汎用的能力





(3) 本単元で目指す児童像を実現するための手だてと関連する夢4

<p>【手だて1】: 友達の意見を確実に聞き取り、話し合いの場を充実させるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 司会、記録係、時間係、話し手と4つの役割を明確に 話し合いをうまく進めていくために、司会・記録係・時間係・話し手の4つの役割を子供に設定させる。そうすることで、確実に友達の意見を聞き、アドバイスできるようにした。 ○ 友達のおすすめ本も読む。 事前に同じ班の仲間のおすすめの本も読み、自分なりのおすすめポイントを決めておくこととする。そうすることで、話し合いの際に中身の濃いアドバイスをすることができるようにし、活発に意見を交換し合えるようにする。 	<p>【夢4】</p> 
<p>【手だて2】: 自分の「おすすめの一さつ」を、魅力のある提案にするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の貸し出し状況をもとに、実態に沿った本を選ぶ。 児童になじみのある「どんぐりまつり」で4年生に紹介する本を、自信をもって選ぶために、図書館の貸し出し状況から、4年生の選書の傾向を資料として提示する。さらに、どんな手紙の内容だと、その本を読んでみたくなるか、はがきへの表現の仕方のイメージをもつことでより魅力的な紹介になるようにする。 ○ グループ学習による磨き合い グループ学習で自分の書いた作品を紹介する際に、良いところ、分かりづらいところ、アドバイス等を付箋に書いたり、赤で友達の書き加えたりして出し合うことで、作品の改善につなげたい。 	<p>【夢4】</p>  

5 指導計画（全7時間）

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
つかむ	1	「どんぐりまつり」に向け、4年生にすすめる本を決めて紹介することを確認する。	○「どんぐりまつり」の概要を知る。 ○単元のめあてを確かめ、学習計画を立てる。 ○どんな手紙の内容だと、その本を読んできたくなるか、はがきへの表現の仕方のイメージをもつ。	◆図書館の貸し出し状況から、4年生の選書の傾向を資料として提示し、おすすめの本を決める上で、「魅力」の価値付けの参考とする。	【主①】 
	2 3	おすすめの本選びをする。	○「本の魅力」の観点を確認する。 ○観点に沿った選書をするための読書活動を行う。 ○グループのメンバーが読んでいる本も読む。	◆印象的な場面、紹介したくなるような場面には付箋を貼り、フィードバックがしやすいようにする。 ◆意味のある話し合い活動にするため、互いの選んだ本についても内容を把握するために読む。	【思・判・表②】 
高める	4	「どんぐりまつり」向けの手紙の下書きを書く。	○第1時で確認した表現の仕方を意識しながら、手紙を書く。	◆手紙の書き方に困惑する児童向けに、手紙のひな型を用意しておく。 ◆ひな型に当てはめて書く児童でも、本の魅力を自分なりに見つけられるよう、助言する。 ◆次時のために話し合いのデモンストレーションを行う。	【思・判・表②】 
	5 6 (本時)	手紙の下書きを読み合い、話し合い活動を通して、内容を磨き合う。	○発表と話し合いの進め方を知る。 ○グループで作品を評価し合う。 ○受けたアドバイスをもとに、改善できるところを手直す。	◆何のために読み合うのか目的を確認する。 ◆話し合いの順序を確認する。 ◆気付いたところは付箋にメモし、話し合いの材料にさせる。 ◆ <u>良いところ、分かりづらいところ、アドバイス等を出し合う</u> ことで、 <u>作品の改善につなげることを伝える。</u>	【知・技②】  【思・判・表②】 

	7	「どんぐりまつり」のはがきを清書する。	○前時で手直した下書きを見ながら清書する。	<p>◆本の内容に即したイラストも加えてよいこととする。</p> <p>◆昨年度の配達の実験から、どういふあて名書きが読みやすかったか思い出し、あて名や差出人のところも丁寧に書かせる。</p>	<p>【思・判・表②】</p>  
--	---	---------------------	-----------------------	--	--

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習（7時間扱いの5時間目）

- (1) 本時の目標
手紙の下書きを読み合い、話し合い活動を通して、内容を磨き合うことができる。
- (2) キャリア教育の重点
・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。

【自己理解・自己管理能力】

(3) 展開

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援(○)評価(●)
導入 5分	1 前時までの学習内容を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。	【全体】 ・掲示物 ・プロジェクター	○発表と話し合いの進め方を確認する。(前時までに確認する)
展開 35分	手紙の下書きを読み合い、内容にみがきをかけよう。		
	3 下書きした手紙を読み合い、アドバイスし合う。 (司会・記録係・時間係・話し手の4つの役割) ・班の友達の下書きを読み、良いところ、伝わりにくいところ改善点やアドバイス等を付箋に書き込む。 ・付箋に書き込んだことをもとに、話し合いを行う。	【班】 ・ワークシート ・下書きのコピー(人数分) ・付箋 【全体】 ・話型の掲示物	○互いの発表内容が聞きやすく関わりがもちやすい場の工夫をする。 ○何のために話し合いをするのかを事前に目的を確認しておく。 ○話し合いの順序がわかるように掲示する。 ○よいところは赤鉛筆で花丸。アドバイス等を付箋に書き込む。 ※付箋に書き込むのが難しい場合は、アドバイス等に青線を引くでもよい。 ●「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。【自己理解・自己管理能力】(思)
まとめ 5分	4 本時の振り返りを行う。 ・次回、自分がどのように改善していくとよいかを分かったことを振り返る。	【個人】 ・発言 ・ハンドサイン	○次時に直すところが分かっているかを確認する。



7 板書計画

司会の話型や話し合いで出た、良かったところ	はがきの拡大 ※手直しやアドバイスの仕方の例	めあて 下書きを読み合い、内容にみがきをかけよう。	おすすめの一さつを決めよう
-----------------------	---------------------------	------------------------------	---------------

8 成果と課題

成果

- ・本学年児童の苦手な点である「聞く」、「聞き通す」力を養うため、1学期には「もっと知りたい、友だちのこと」で、自分のことを紹介し、関心をもって聞くことを重点に取り組んできた。2学期は「聞く」だけでなく、「聞いて、考え、自分の意見を持ち、発表する」力を身に付け、話し合い活動が円滑に行えるような取り組みを「おすすめの一さつを決めよう」で進めてきた。
- ・どんぐりまつりのはがきを書くことについては今年度で3回目の経験であることから、どのような紹介文をもらえると伝わりやすいのか、ポイントを絞ってアドバイスすることができた。また、アドバイスされた側も素直に受け入れ、文章のバージョンアップを図ることができた。
- ・司会の役割を設けたことにより、話し合いをスムーズに進めることもできた。話型をどれくらい用意するか、4人の担任がそれぞれ試行錯誤しながら準備したが、枠にはめすぎず、流れが把握できる程度でも3年生なりに進行することができた。この授業をきっかけに、話し合うことの良さを児童が実感し、他の教科でのグループ活動にも活かしている。

課題

- ・どんぐりまつりのような共通話題ではなかった場合、今回のような活発な話し合いができるのだろうか。（話し合う必要感をもたせることが、重要だと思う。）
- ・はがきの内容についてアドバイスし合い、内容を深めることを主の目的としてきたが、ひらがなを漢字にすることや、表記上の指摘が多く、添削のようになってしまった。